



▲8月末までに渡した名刺は400枚以上



私の名刺には、一度お会いしたら忘れられないように、私の顔写真を大きく入れています。播磨町はコンパクトなまちですが、私は体も大きく、顔も大きいため、この名刺はかなりインパクトがあるようで、お渡しした方は皆、名刺を二度見しながら笑顔になってくれます。

播磨町長に就任させていただいて以来、たくさんの方にお会いさせていただきました。官公庁において、国会議員、国家公務員、県会議員、県職員、兵庫県下の首長、各市町村職員の方々、金融機関の方々、町内の企業の方々等、そして住民の皆様。初めてお会いする方も以前からよく知る方も、播磨町のこれからについて様々な知恵とお力をいただいています。

播磨町は5月に「協働のまちづくり宣言」を行い、町の未来に向かって、みんなで考え、みんなで話し合い、みんなの力を合わせた「協働のまちづくり」を推進していきます。

8月27日に開催した「まちづくり講演会」には私自身も参加しました。その席でも申し上げましたが、これからのまちづくりの課題について、行政だけでは解決できないことが増えてきています。これからは、住民、企業、議会、行政などが一丸となって『ワンチームはりま』でまちづくりを進めていきたいと考えていますので、是非皆様のご協力をお願いいたします。

播磨町長 佐伯 謙作

播磨町教育広報

教育委員会地域学校教育課
学校教育係 ☎079-435-0545

親子で博物館へ行こう

私は播磨町郷土資料館で主に文化財の保護と啓発に携わっています。休日ともなれば多くの家族連れが見学に来られます。今回は親子で見学することについて考えてみましょう。平成29年度に実施された学力調査の結果と保護者に対する調査の結果を関連付ける報告書によると、親子で子どもを小さいときから博物館・図書館等の文化施設に連れて行く機会が多いと、子どもの学力が高いという結果があります。ある心理学者は、親子で文化施設に出かけることで知的な好奇心が刺激され、後の学習意欲

播磨町郷土資料館 館長 井上 珠彦

につなげるからだと推測しています。また、非認知能力も育ちます。非認知能力とは、主体性や人と関わる力、感情をコントロールする力などと言います。博物館での学習は、子どもの意欲面に働きかけることからこの非認知能力の育成に関係していると考えられています。ある研究では、子どもが一人や友だち同士より、親子で見学する方が展示室での滞在時間が長いということがわかってきました。ここで大切なことは親子の会話です。親が子どもに対して「あれ見なさい」「これも見た方が…」という親主導型の会話は子ども自発性を妨げます。それよりも子どもの興味があるところで、親が説明してあげること、展示に対する理解が深まり、「この土器どうやって使ったのかな」などと質問すること、子どもの自由な思考を促すことになります。

文化施設で大きな声は出せませんが、親子での楽しい会話は、きっと子どもたちの興味関心を引き出す事でしょう。まずは、親子で博物館に出かけてみませんか。



楽屋裏 広報はりまをリニューアルしました。この「楽屋裏」のあるページより後ろのページは横組みになっています。ここより後ろ（P10以降）は、裏表紙からめくって読むと、より読みやすい構成になっています。10月1日、播磨町はこれまでのグループ制から部・課・係に組織が変わります。今月は新旧両方の窓口の名称と電話番号を併記しています。また、10月1日以降、町ホームページもトップページ以外のURLが変わります。しばらくは新旧ホームページの混在が見られますが、ご了承ください。 (宮)

町長と語り合う オープンミーティング

▼問合せ 企画グループ（企画課秘書広報係） ☎079（435）0356

町長が住民の皆さまと意見交換の機会を持ち、今後のより良いまちづくりに活かすため、各コミセンでオープンミーティングを開催します。在任または在勤の人は、どなたでも参加できます。播磨町の未来について、住民、地域、行政が一緒になって語りましょう。

▼注意事項

- ・事前の申し込みは必要ありません。
- ・お住まいの地区以外の会場にも参加可能ですが、会場により定員が異なるため、状況により、他日程へのご参加をお願いする場合があります。
- ・各会場へは自転車または徒歩でお越しください。（駐車場に限りがあります。）
- ・当日は、ご自身の体調確認、マスク着用など新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底のうえ、ご参加をお願いします。



▶開催日程

日時	場所	備考（定員目安）
10月8日（土） 10：00～11：30	南部コミセン ☎079-436-4110	約100人
10月15日（土） 10：00～11：30	東部コミセン ☎078-943-6611	約 30人
10月19日（水） 18：30～20：00	西部コミセン ☎079-436-9900	約 50人
10月26日（水） 18：30～20：00	野添コミセン ☎078-943-4825	約100人

まちづくり講演会が開催されました

播磨町では2022年5月に「協働のまちづくり宣言」を行いました。これからのまちづくりについて住民も行政も一緒になって考える機会として、話し合いの場や学ぶ機会を作る予定としています。今回はその一つとしてのまちづくり講演会のレポートです。

8月27日にまちづくり講演会が中央公民館にて開催されました。3年ぶりの開催となったまちづくり講演会のテーマは「これからの播磨町のまちづくり」自分たちのまちは自分たちでつくる」でした。講師には、2月に開催した職員研修会でも話題提供いただいた、柏木登起さん（一般財団法人 明石コミュニティ創造協会 常務理事）にお越しいただきました。当日は45人の参加者があり、これからの播磨町のまちづくりについて学び、考える機会となりました。講演の中では、人口の変化によって社会の状況が大きく変わることや播磨町ではこれから高齢化率が上がっていくことを前提に、これからのまちには「楽しい」や「気になる」をきっかけに自分

のできることははじめのまちづくりが大切だと話がありました。協働のまちづくりを進めるためには、立場や所属を問わずに話し合える場が大切です。今後も、このような学ぶ機会や話し合える機会を積み重ねていきたいと思っています。そうした中で、住民・地域・企業・行政等、播磨町に関わる人や団体がパートナーとなっていくことが播磨町のまちづくりにとって大切です。



▲学ぶ機会を積み重ねよう

【まちづくりアドバイザーとは】 播磨町では、多様化・複雑化する地域の課題やニーズに、より細かく対応するため、2020年度より「まちづくりアドバイザー」を配置しています。自治会活動やコミュニティ活動、自主的なまちづくり活動について専門的な視点から支援します。

まちづくりアドバイザーが届けます
まちアド通信 企画グループ
☎079（435）0356
（協働推進課住民協働係 ☎079（435）23664）